

せりよさ

好学
道義
根性



「よりよく生きる」進路選択を

進路指導主任 栗ヶ窪 智恵理

少子高齢化社会の到来、雇用形態の多様化・流動化、科学技術の飛躍的な発展などを背景として、就職・進学を問わず、高校生の進路をめぐる環境は大きく変化している。だが、この厳しさを生徒に指導の中で実感させることは容易ではない。さらに近年、高校生の学びや労働への関心・意欲の低下も指摘される。本校生においても、進学や就職先の決定をゴールと捉える生徒が多く、本当の意味での、「キャリア教育」の難しさを痛感している。

今回、沖高振興事業の一環として、ベネッセコーポレーションより劉耕助先生を講師に招き「君が成長し続けるための進路選択」と題してキャリア教育講演会が開催された。「あらゆる仕事の約半分は、20年以内にコンピュータに代替される可能性がある」「2050年までに居住地域の2割が無化する」「国内企業の3社に1社の割合で外国人もライバルになる時代」そして「高校生のなりたいたい仕事は世の中の職業の16%の範囲に集中している」…具体的な数字には、圧倒的な説得力がある。

自分の生きていく未来が決して甘くはない事実を突きつけられた生徒たち。自分の将来を正面から真剣に見つめる必要性を感じた様子だった。感想文にも「社会への興味関心を深めて、もっと視野を広げたい」「自分の為だけの進路選択から誰かの為・世の中の為の働き方を考えたい」などの感想が多く見られ、今回の講演会が生徒たちに重く響いたことが窺えた。

沖永良部の生徒たちは、家族や親族、仲間を大切に、故郷を愛する清らかな魂を持つ。そこに、ちょっとした生き方のヒントや新しい考え方の視点を与えてやれば、驚くほどの吸収力で自ら成長していく。きつと一つの出会いで人生は大きく変わるのだと思う。今回の講演会もそんな一つのきっかけになることを願う。

教師として進路を生徒とともに考えることは、未来の明るい社会形成に直接携わっていることになる。そうだとするならば、生徒にとって身近な大人である我々教師が、よい生き方をしている姿を見せよう、私ももっと研鑽を積み重ねよう、私にはなりたい職業人になろう、それで完成形ではない。ともに学びながら、沖高生が将来、よりよく生きる為の進路選択ができるよう尽力したい。



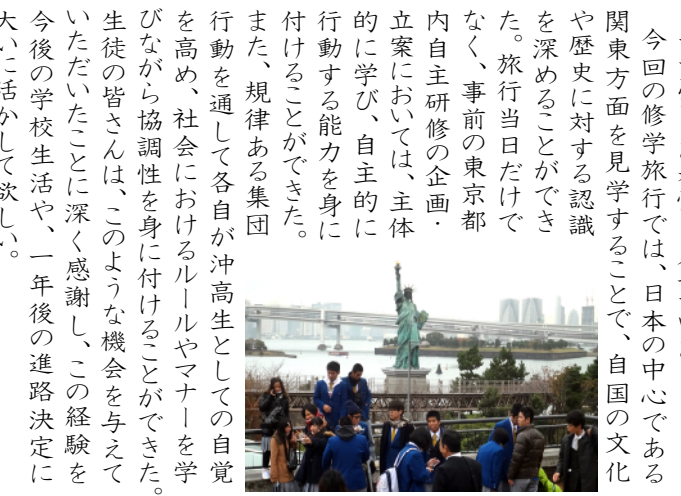
修学旅行報告

2学年主任 井上 広之

12月8日より5日間にわたり、第2学年の修学旅行を実施した。生徒の期待を満載した船中では、日程を守りつつも友人との尽きない話に、顔をほころばせる様子が印象的であった。2日目の早朝からの移動になった東京デイズニースーツでは、夢の国と称されるその魅力を堪能すると共に、これを支えるスタッフによる国内屈指のサービスに感激した。3日目は事前の計画に沿って自主研修にくり出し、政治・文化・産業の中心である東京で一日を過ごした。企業訪問を計画した班は、職場を見学して実際の仕事の様子を見たり、質問をすることで、職業に対する意識や理解を高めていた。

大学を訪問した班では、機能的に配置された校舎や、都会の洗練された学生の様子に触れ、進学に対する意欲を新たにしていた。4日目は都内最古の寺院である浅草・浅草寺(せんそうじ)や、お台場の最新の商業施設の華やかさや機能性に触れ、首都東京の持つ二面性に気付かされた。飛行機の遅れや長時間の移動による疲れもあったが、最後まで大きく体調を崩す生徒もおらず、帰着後の和泊港での解散式では、全員が全日程を終えて充実した表情を見せていた。

今回の修学旅行では、日本の中心である関東方面を見学することで、自国の文化を深めることができた。旅行当日だけでなく、事前の東京都内自主研修の企画・立案においては、主体的に学び、自主的に行動する能力を身に付けることができた。また、規律ある集団行動を通して各自が沖高生としての自覚を高め、社会におけるルールやマナーを学びながら協調性を身に付けることができた。生徒の皆さんは、このような機会を与えていただいたことに深く感謝し、この経験を今後の学校生活や、一年後の進路決定に大いに活かして欲しい。



日頃からの備えが肝心！防災訓練

11月28日(金)沖永良部と論地区広域事務組合消防本部及び本校職員による指導で、調理室での火災発生を想定した避難訓練が実施された。当日の訓練はスモークマシンの中、煙や風向きに注意して、緊急時の確認や避難誘導が行われた。

全生徒・職員はグラウンドに避難した後、消防士から防災講話を受け、消火器の役割や正しい使用方法を教えていただいた。学校の代表として3年生体育委員6名が水消火器による消火訓練を行い、人的・物的被害を最小限に抑える初期消火活動の大切さを学ぶことができた。

災害はいつどこで発生するかわからない。火災発生時に何の情報もなく炎や煙を見たら、ほとんどの人がパニックに陥るようだ。いざという時に命を守るため、安全で確実に行動できるように日常生活の中や実践的な避難訓練を通して、防災意識を高め、緊急の事態に備えておくことが必要である。



1年2組紹介(委員長 栗ヶ窪 隆陸)

1年2組は、男子17名、女子14名、担任は野崎先生、遠山先生、小林先生の楽しくてにぎやかなクラスだ。入学して9ヶ月が経ち、クラスの団結も強くなってきた。特に仲の良さを実感するのは、誕生日を祝い、全員で歌を歌うときだ。祝ってもらった人は、ほんのりが嬉しそうに顔を上げて、「このクラスで楽しい」と言う。

入学早々の不安な時期や、高校生活で体験するたくさんさんの「はじめて」を、この仲間と分かち合えて良かったと皆が思っているだろう。一年生も残りわずかだが、これからも「このクラスで良かった」の声が聞けるクラスでいたい。



1月行事予定表

- 1 (木) 元日
- 2 (金) 金曜祭
- 3 (土) 土曜祭
- 4 (日) 日曜祭
- 5 月冬課外後期(3年のみ)
- 6 火冬課外後期(3年のみ)
- 7 水冬課外後期(3年のみ)
- 8 木始業式 服装容儀検査 車体検査
- 実力考査(1・2年) 学年会
- 9 (金) ●実力考査(1・2年) 安全点検日
- 10 (土) 成人の日
- 11 (日) 成人の日
- 12 (月) 成人の日
- 13 火3年商業科補習(16日まで)
- 14 水 水教務部会
- 15 木 金保健部会 交通安全の日
- 16 (土) ●土曜課外(1・2年生 小論模試)
- 17 (日) ●大学入試センター試験 数学検定
- 18 (日) ●大学入試センター試験 全情報処理検定
- 19 月 開陽試験A日程
- 20 火 水職員会議 大島地区総合文化祭
- 21 水 木生徒指導部会 大島地区総合文化祭
- 22 木 金進路検討会(3年)
- 23 (土) ●進研記述(1・2普)
- 24 (日) ●進研記述(2普)
- 25 (日) ●英語検定 全商簿記実務検定
- 26 月 開陽試験B日程
- 27 火 ●卒業考査(商)実力考査(3普)
- 28 水 ●卒業考査(商)実力考査(3普) 進路指導部会 運営委員会
- 29 木 ●卒業考査(商)実力考査(3普) 献血(12:00~14:30)
- 30 金 3年合同LHR
- 31 (土) ●土曜課外(1・2年生) 漢字検定

頑張れ3年生&合格おめでとう！

これまで自らの将来に向けて、努力を重ねてきた3年生。現時点で、就職や大学・専門学校等への進学を3年生の3分の2が勝ち取っている。

主な進路先は、就職は日本郵便九州支社や自衛隊など、大学は長崎大学(教育、水産)、琉球大学(観光産業科学)、北九州市立大学(法)、下関市立大学(経済)、尾道市立大学(経済情報)、鹿児島国際大学(福祉社会)、九州保健福祉大学(社会福祉)、鹿児島県立短大、鹿児島女子短大など、専門学校は鹿児島医療福祉専門、久木田看護専門などである。

そして、1月17日(土)、18日(日)のセンター試験に向けて、今も毎日懸命に学習に励む3年生もいる。自分の持てる最大限の力を引き出し、合格を勝ち取るためにも、最後まで粘り強く頑張ってもらいたい。

日展入選(芸術科 水口昌紀教諭)

日本最大の美術展である日本美術展覧会(日展 第5科(書))に、本校の水口昌紀教諭(書道)の作品「かたちこそ」が入選した。水口先生は仮名が専門で、授業や部活動で書道のおもしろさを生徒に伝える傍ら、日夜作品製作に没頭していらっしゃる。これからも先生の活躍とともに、書道の楽しさに触れる生徒が増えることを期待したい。

笑顔の舞台を目指して

私たちがエイサー部は、顧問の兒玉先生、田代先生、井上先生のもと、3年生7名、2年生7名、1年生11名の計25名で活動している。今月行われた県大会では、練習以上のいい舞台になったが最優秀賞を逃してしまっただけで、今回の大会でそれぞれが成長し、自信をつけることができた。

現在私たちは1月に終わる地区総合文化祭に向けて練習している。また2月には仮引退中の3年生も復帰し、3月に予定されている卒業公演に向けて、本格的に練習を開始する。

保護者を始め日頃応援してくださるたくさんの方々への感謝を忘れず、沖高のエイサー部らしく笑顔で楽しく、そして、お客さんも笑顔になるような舞台にできるように頑張りたい。

